

職員70名が「認知症サポーター養成講座」を受講 ～ 認知症サポーターの資格者が745名に ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は8月5日（月）、「認知症サポーター養成講座」を開催し、職員70名が受講しました。この講座は、認知症の方やその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成するもので、当金庫では平成23年から継続して開催しています。

参加者は、認知症に関する正しい知識や認知症の方との接し方、支店窓口やATMコーナーでの対応等とともに、認知症の方やその家族の気持ちに対して、どのようにして寄り添えばよいかを学びました。受講後、認知症サポーターの証として受講者にブレスレット（オレンジリング）が贈られました。

当金庫の認知症サポーター資格者は、今回の受講者を含め745名となりました。

今後とも、同サポーターを養成し、お客さまの気持ちに寄り添うことができる職員を育成するとともに、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。

記

1. 認知症サポーター養成講座

- (1) 開催日 令和元年8月5日（月）
- (2) 場所 本店2階ホール
- (3) 参加者数 70名
- (4) 講師 大阪市認知症介護指導者 今堀 富美代 氏

2. 認知症サポーターについて

認知症を正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守り支えていく応援者です。厚生労働省では認知症サポーターの養成に取り組んでおり、人数は令和元年6月末現在、全国で約1,164万人となっています。



講座の様子



講師：今堀 富美代氏

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

